(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2015 年 12 月 30 日(30.12.2015)

WIPO | PCT

(10) 国際公開番号
WO 2015/198404 A1

(51) 国際特許分類:
G06F 13/00 (2006.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2014/066739

(22) 国際出願日: 2014 年 6 月 24 日(24.06.2014)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(71) 出願人: 楽天株式会社(RAKUTEN, INC.) [JP/JP]; 〒1580094 東京都世田谷区玉川一丁目１４番１号 Tokyo (JP).

(72) 発明者: 常　青(CHANG Qing); 〒1400002 東京都品川区東品川四丁目１２番３号　楽天株式会社内 Tokyo (JP).

(74) 代理人: 石井　裕一郎(ISHII Yuichiro); 〒1010054 東京都千代田区神田錦町二丁目７番地　協販ビル２階 Tokyo (JP).

(81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

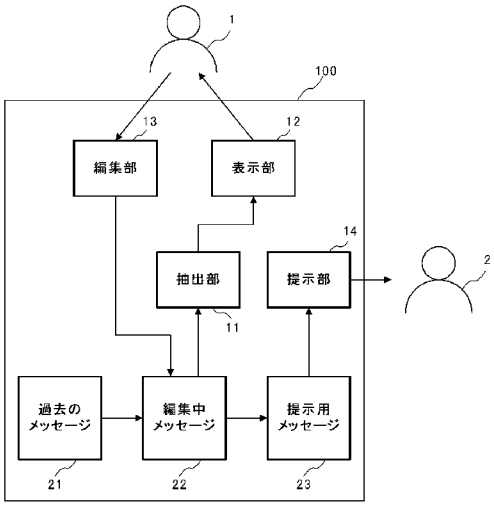
(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告（条約第 21 条(3)）

(54) **Title**: MESSAGE MANAGEMENT DEVICE, MESSAGE MANAGEMENT METHOD, RECORDING MEDIUM, AND PROGRAM

(54) 発明の名称 : メッセージ管理装置、メッセージ管理方法、記録媒体、およびプログラム



11 Extraction unit
12 Display unit
13 Editing unit
14 Presentation unit
21 Past message
22 Message being edited
23 Message for presentation

(57) **Abstract**: A first message (21) presented at a first point in time in the past by an editor (1) of a shop to a customer (2) is used as a first draft (22) of a second message to be newly presented, and an extraction unit (11) extracts from the first draft (22) of the second message a portion satisfying prescribed extraction conditions. A display unit (12) displays the first draft (22) of the second message with the extracted portion being highlighted. An editing unit (13) edits the second message (22) on the basis of an instruction inputted from the shop (1). A presentation unit (14) presents the final draft (23) of the second message to the customer (2) or another customer after the editing is completed. A product information portion containing information pertaining to a product sold by the shop (1) at the first time point satisfies the prescribed extraction conditions.

(57) 要約: 抽出部（１１）は、ショップの編集者（１）からカスタマ（２）へ過去の第１時点に提示された第１メッセージ（２１）を、新たに提示すべき第２メッセージの初稿（２２）として、当該第２メッセージの初稿（２２）から、所定の抽出条件を満たす部分を抽出する。表示部（１２）は、抽出された部分を強調して第２メッセージの初稿（２２）を表示する。編集部（１３）は、第２メッセージ（２２）を、ショップ（１）による指示入力に基づいて編集する。提示部（１４）は、編集が完了すると、第２メッセージの最終稿（２３）をカスタマ（２）あるいは他のカスタマに提示する。第１時点でショップ（１）が販売していた商品に関する情報を記述する商品情報部分は所定の抽出条件を満たす。

WO 2015/198404 A1

明　細　書

発明の名称 ：

メッセージ管理装置、メッセージ管理方法、記録媒体、およびプログラム

技術分野

[0001] 本発明は、メッセージ管理装置、メッセージ管理方法、記録媒体、およびプログラムに関する。

背景技術

[0002] 近年、ウェブサイト、あるいは電子メールを介したコミュニケーションが発達している。ショップが、ウェブサイトあるいは電子メールなどを介してカスタマにセール情報などのメッセージを伝達することは近年では珍しくない。

[0003] ショップがメッセージを伝達し、カスタマに情報を提供する場合、そのメッセージは、過去に使用したメッセージに含まれる情報のうち古くなった情報を新しい情報に入れ替えたものとなる。例えば、ショップがセール情報をカスタマに伝達する場合、ショップは、過去にカスタマに提示したメッセージを初稿とし、情報が新しくなった部分（新しくセール対象となった商品に関わる部分や、価格が変更された部分など）の情報を更新することで新たにカスタマに提示するメッセージを作成することができる。この方法によれば、過去に提示した際から変更のない部分（連絡先情報やショップへのアクセス情報、また前回と同じ販売条件で販売される商品に関わる部分など）をそのまま活用できるため、ショップとしてはメッセージの作成にかかる労力を低減することができる。

[0004] このようなやり方で新しいメッセージを作成する場合、新しいメッセージにおいて、変更すべき部分が適切に変更されているか確認することが必要になる。

[0005] 例えば、特許文献１は、提示前のメッセージの内容を複数の検証者が検証する際、メッセージを受け取る検証者に応じて適切な差分内容を提示するこ

とが可能なメッセージ作成支援装置等を開示している。

先行技術文献

特許文献

[0006] 特許文献1：特開２０１３－１６７９９６号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0007] しかしながら、このような技術を用いても、メッセージを編集する人が修正すべき箇所として認識できていない部分を、修正すべき箇所として示すことはできない。

[0008] このような環境のもと、過去に使用したメッセージを初稿（テンプレート）として編集し、新たなメッセージの最終稿を作成する際に、修正すべき箇所の修正忘れを防止するための技術が求められている。

[0009] 本発明は、このような問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、過去に使用したメッセージを初稿として編集を行うことにより、新たなメッセージの最終稿を作成する際に、修正すべき箇所の修正忘れを防止することができるメッセージ管理装置、メッセージ管理方法、記録媒体、およびプログラムを提供することである。

課題を解決するための手段

[0010] 上記目的を達成するため、本発明の第１の観点に係るメッセージ管理装置は、

ショップからカスタマへ過去の第１時点に提示された第１メッセージを、新たに提示すべき第２メッセージの初稿として、当該第２メッセージの初稿から、所定の抽出条件を満たす部分を抽出する抽出部、

前記抽出された部分を強調して前記第２メッセージの初稿を表示する表示部、

前記第２メッセージを、前記ショップによる指示入力に基づいて編集する編集部、

前記編集が完了すると、前記第２メッセージの最終稿を前記カスタマあるいは他のカスタマに提示する提示部、を備え、

前記第１時点で前記ショップが販売していた商品に関する情報を記述する商品情報部分は前記所定の抽出条件を満たす

ことを特徴とする。

[0011] 第１の観点に係るメッセージ管理装置において、

前記表示部は、前記商品が前記第１時点で前記ショップにより特売商品に選択されていたか否かにより、前記商品情報部分の強調の様態を変える

ものであってもよい。

[0012] 第１の観点に係るメッセージ管理装置において、

前記表示部は、前記商品の販売条件が前記第１時点と前記第２メッセージの最終稿が提示される第２時点とで異なるか否かにより、前記商品情報部分の強調の態様を変える

ものであってもよい。

[0013] 第１の観点に係るメッセージ管理装置において、

前記表示部は、前記初稿において、前記販売条件が前記第１時点と前記第２時点とで異なる前記商品情報部分における、前記第１時点における販売条件が、前記第２時点における販売条件に置き換えられた後に、前記初稿を表示する

ものであってもよい。

[0014] 第１の観点に係るメッセージ管理装置において、

前記第２メッセージの編集が開始されると、提示された前記第１メッセージと、編集中の前記第２メッセージとで相違する相違部分を特定する特定部、をさらに備え、

前記表示部は、前記第２メッセージが編集されている間、前記第２メッセージに残っている前記第１メッセージにおける前記相違部分の記載である第１語句を強調表示する、

ものであってもよい。

[0015] 第１の観点に係るメッセージ管理装置において、

前記表示部は、前記第２メッセージに残っている前記第１語句を前記第２メッセージにおける前記特定された相違部分の記載である第２語句に置き換えるか否かをショップに確認する

ものであってもよい。

[0016] 第１の観点に係るメッセージ管理装置において、

前記第１メッセージの内容と、前記第１時点より前の第３時点にショップからカスタマへ提示された第３メッセージの内容とで相違する相違部分を特定する特定部、をさらに備え、

前記表示部は、前記第２メッセージが編集されている間、前記第２メッセージに存在する、前記第１メッセージにおける前記相違部分の記載である第１語句と前記第３メッセージにおける前記相違部分の記載である第３語句とを強調表示する、

ものであってもよい。

[0017] 第１の観点に係るメッセージ管理装置において、

前記表示部は、前記第２メッセージに存在する前記第１語句または前記第３語句が前記ショップにより第２語句に変更されると、前記第２メッセージに存在する他の前記第１語句および他の前記第３語句を前記第２語句に置き換えるか否かをショップに確認する、

ものであってもよい。

[0018] 上記目的を達成するため、本発明の第２の観点に係るメッセージ管理方法は、

ショップからカスタマへ過去の第１時点に提示された第１メッセージを、新たに提示すべき第２メッセージの初稿として、当該第２メッセージの初稿から、所定の抽出条件を満たす部分を抽出する抽出ステップ、

前記抽出された部分を強調して前記第２メッセージの初稿を表示する表示ステップ、

前記第２メッセージを、前記ショップによる指示入力に基づいて編集する

編集ステップ、

前記編集が完了すると、前記第２メッセージの最終稿を前記カスタマあるいは他のカスタマに提示する提示ステップ、を備え、

前記第１時点で前記ショップが販売していた商品に関する情報を記述する商品情報部分は前記所定の抽出条件を満たす

ことを特徴とする。

[0019] 上記目的を達成するため、本発明の第３の観点に係る記録媒体は、

コンピュータを、

ショップからカスタマへ過去の第１時点に提示された第１メッセージを、新たに提示すべき第２メッセージの初稿として、当該第２メッセージの初稿から、所定の抽出条件を満たす部分を抽出する抽出手段、

前記抽出された部分を強調して前記第２メッセージの初稿を表示する表示手段、

前記第２メッセージを、前記ショップによる指示入力に基づいて編集する編集手段、

前記編集が完了すると、前記第２メッセージの最終稿を前記カスタマあるいは他のカスタマに提示する提示手段、として機能させ、

前記第１時点で前記ショップが販売していた商品に関する情報を記述する商品情報部分は前記所定の抽出条件を満たす

ことを特徴とするプログラムを記録する。

[0020] 上記目的を達成するため、本発明の第４の観点に係るプログラムは、

コンピュータを、

ショップからカスタマへ過去の第１時点に提示された第１メッセージを、新たに提示すべき第２メッセージの初稿として、当該第２メッセージの初稿から、所定の抽出条件を満たす部分を抽出する抽出手段、

前記抽出された部分を強調して前記第２メッセージの初稿を表示する表示手段、

前記第２メッセージを、前記ショップによる指示入力に基づいて編集する

編集手段、

前記編集が完了すると、前記第２メッセージの最終稿を前記カスタマあるいは他のカスタマに提示する提示手段、として機能させ、

前記第１時点で前記ショップが販売していた商品に関する情報を記述する商品情報部分は前記所定の抽出条件を満たす

ことを特徴とする。

発明の効果

[0021] 本発明によれば、過去に使用したメッセージを初稿として編集を行うことにより、新たなメッセージの最終稿を作成する際に、修正すべき箇所の修正忘れを防止することができる。

図面の簡単な説明

[0022] [図1]実施の形態１に係るメッセージ管理装置の機能構成を示すブロック図である。

[図2]メッセージ管理装置のハードウェア構成を示すブロック図である。

[図3]記憶装置に設けられた記憶領域を説明するための図である。

[図4]商品情報データの一例を示す図である。

[図5]実施の形態１に係る抽出処理のフローチャートである。

[図6]表示部が表示するメッセージの一例を示す図である。

[図7]実施の形態２に係るメッセージ管理装置の機能構成を示すブロック図である。

発明を実施するための形態

[0023] 以下、本発明の実施形態について添付図面を参照しつつ説明する。

[0024] ＜実施の形態１＞

本発明の実施の形態１に係るメッセージ管理装置１００は、ショップの担当者に、メッセージを編集するための機能、また作成したメッセージを管理する機能、および作成されたメッセージをカスタマに提示する機能を提供するものである。

[0025] 実施の形態１に係るメッセージ管理装置１００は、ショップの担当者が新

たなメッセージを作成する際、当該メッセージにおいて修正が望まれる部分を抽出し、その部分を強調して表示する機能を有する。それにより、ショップの担当者は修正が望まれる部分を的確に把握することができ、修正すべき箇所の修正忘れを防止することができる。

[0026] 実施の形態１に係るメッセージ管理装置１００は、図１に示すように、機能面では、抽出部１１、表示部１２、編集部１３、および提示部１４を備える。またメッセージ管理装置１００は、過去のメッセージ２１、編集中メッセージ２２、提示用メッセージ２３のデータを保持する。メッセージ管理装置１００は、過去のメッセージ２１を初稿として編集中メッセージ２２を作成し、ショップの担当者である編集者１に編集中メッセージ２２として提示し、編集者１による編集を受け付ける。編集中メッセージ２２の編集が完了すると、メッセージ管理装置１００は最終稿を提示用メッセージ２３として記録し、提示用メッセージ２３をカスタマ２に提示する。

[0027] 抽出部１１は、過去のメッセージ２１により編集中メッセージ２２の初稿が作成されると、編集中メッセージ２２の初稿から、所定の抽出条件に合致する部分を抽出する。

[0028] 抽出部１１が抽出する条件としては、以下のようなケースが考えられる。第１に、編集中メッセージ２２に日付、商品の値段、商品の割引率、商品の割引額などを示す部分があれば、抽出部１１は、新しいメッセージである編集中メッセージ２２において当該部分に対応する部分を抽出するものとしてもよい。

[0029] 第２に、過去のメッセージ２１がカスタマに提示された時点にショップが取り扱っていた商品に関する情報が、編集中メッセージ２２に記載されていれば、抽出部１１は当該情報を示す部分を抽出する。

[0030] 表示部１２は、ディスプレイ等を介して編集者１に情報を提示する機能を有する。例えば、編集者１がメッセージを編集するにあたり、表示部１２は、編集者１に編集中メッセージ２２を表示する。その際、表示部１２は、抽出部１１が抽出した部分を強調して編集者１に表示する。

[0031] 編集部１３は、ショップの担当者である編集者１に対して新しいメッセージを作成するための機能を提供する。すなわち、編集部１３は、編集者１による操作に従い、編集中メッセージ２２の内容を更新する。編集者１による編集中メッセージ２２の編集作業が完了すると、編集部１３は編集中メッセージ２２の最終稿を提示用メッセージ２３として記録する。その他、編集部１３は、文書を編集するための一般的な機能を編集者１に提供する。

[0032] 過去のメッセージ２１は、過去のある時点にメッセージ管理装置１００がカスタマ２に提示したメッセージである。メッセージ管理装置１００は、過去のメッセージ２１を、カスタマ２に提示した日時と対応付けて記録する。

[0033] 編集中メッセージ２２は、編集者１が編集しているメッセージのドラフトであり、新たにカスタマ２に提示すべきメッセージの原型となるものである。メッセージ管理装置１００は、過去のメッセージ２１を、編集中メッセージ２２の初稿とする。メッセージ管理装置１００は、表示部１２を介して編集中メッセージ２２を編集者１に提示するとともに、編集部１３を介して編集者１からの操作を受けつけ、編集中メッセージ２２を更新する。

[0034] 提示用メッセージ２３は、メッセージ管理装置１００がカスタマ２に提示するメッセージである。メッセージ管理装置１００は、提示用メッセージ２３を、例えば電子メールによるメールマガジンとして、あるいはウェブページとして、又は他の方法によりカスタマ２に提示する。

[0035] 実施の形態１に係るメッセージ管理装置１００は、上述の機能構成を、図２に示すハードウェア構成により実現する。すなわちメッセージ管理装置１００は、ＣＰＵ（Central Processing Unit）１１０、ＲＯＭ（Read Only Memory）１１１、ＲＡＭ（Random Access Memory）１１２、記憶装置１２０、操作デバイス１３０、ディスプレイ１４０、ネットワークインターフェース１５０を備え、これらが内部バス１６０を介して互いに接続された構成を有する。これらが協働して動作することにより、前述の機能構成を実現する。

[0036] ＣＰＵ１１０は、ＲＯＭ１１１、ＲＡＭ１１２および記憶装置１２０が記憶するプログラムを実行することにより、メッセージ管理装置１００の全体

を制御する。ＣＰＵ１１０は、必要に応じてＲＯＭ１１１、ＲＡＭ１１２、記憶装置１２０から実行するプログラムを読み出し、また必要に応じてＲＡＭ１１２、記憶装置１２０上にデータを保存する。ＣＰＵ１１０は、メッセージ管理装置１００の各機能を実現する要素（抽出部１１、表示部１２、編集部１３、提示部１４など）として機能する。詳しくは後述する。

[0037] ＲＯＭ１１１は、ＣＰＵ１１０が稼動する上で必要となるプログラム、例えばメッセージ管理装置１００の起動時にＣＰＵ１１０が最初に実行するプログラム等を記憶する。

[0038] ＲＡＭ１１２は、ＣＰＵ１１０がプログラムを実行する際にワークエリアとして機能する。すなわち、ＲＡＭ１１２は、ＣＰＵ１１０が実行中のプログラム、あるいは、ＣＰＵ１１０がプログラムを実行する上で必要となる一時的なデータを記録し、ＣＰＵ１１０からの要求に応じてＣＰＵ１１０に提供する。

[0039] 記憶装置１２０は、ハードディスクドライブやフラッシュメモリ等の記憶装置を備え、メッセージ管理装置１００が稼動するために必要なデータを記憶する。記憶装置１２０は、例えば、ＣＰＵ１１０が実行するためのプログラム、あるいはＣＰＵ１１０がプログラムを実行する上で参照するデータを記録し、ＣＰＵ１１０からの要求に応じてＣＰＵ１１０に提供する。また、記憶装置１２０は、ＣＰＵ１１０からの要求に応じ、ＣＰＵ１１０から出力されたデータを記録する。

[0040] 操作デバイス１３０は、キーボードやマウス等を備え、編集者１による入力操作を受け付けてＣＰＵ１１０に伝達する。

[0041] ディスプレイ１４０は、液晶ディスプレイ又はブラウン管ディスプレイなどを備え、編集者１に必要な情報を表示する。

[0042] ネットワークインターフェース１５０は、メッセージ管理装置１００をネットワーク（図示せず）に接続する。メッセージ管理装置１００が、ネットワークを介して他機器に情報を送信し、あるいは他機器から情報を受信する際、ネットワークインターフェース１５０は、ＣＰＵ１１０から後述する内

部バス１６０を介して受信した情報を、ネットワークを介して他機器へ送信し、また他機器からネットワークを介して受信した情報を、内部バス１６０を介して制御部として機能するＣＰＵ１１０へ送信する。一例として、メッセージ管理装置１００は、ネットワークインターフェース１５０を介し、インターネットを経由してカスタマに電子メールを送信することができる。あるいはメッセージ管理装置１００は、ネットワークインターフェース１５０を介し、ウェブサーバとしてhtml（HyperText Markup Language）で記載された情報をウェブページとしてカスタマに提示することができる。

[0043] ネットワークインターフェース１５０は、例えばケーブルを介してメッセージ管理装置１００をネットワークに接続してもよいし、あるいは無線通信によりメッセージ管理装置１００をネットワークに接続してもよい。

[0044] 内部バス１６０は、メッセージ管理装置１００内の構成要素（ＣＰＵ１１０、ＲＯＭ１１１、ＲＡＭ１１２、記憶装置１２０、操作デバイス１３０、ディスプレイ１４０、ネットワークインターフェース１５０等）間での情報のやり取りを中継する。例えば、ＣＰＵ１１０が必要なデータを記憶装置１２０から読み出すとき、ＣＰＵ１１０は、内部バス１６０を介して記憶装置１２０からデータを読み出す。

[0045] 実施の形態１に係るメッセージ管理装置１００において、記憶装置１２０は、図３に示すように、過去のメッセージデータ１２１を記録する領域、編集中メッセージデータ１２２を記録する領域、提示用メッセージデータ１２３を記録する領域、商品情報データ１２４を記録する領域などを有する。記憶装置１２０は、ＣＰＵ１１０からの要求に応じて、これらのデータをＣＰＵ１１０に出力し、あるいはＣＰＵ１１０から出力されたデータをこれらの領域に保存する。

[0046] 過去のメッセージデータ１２１は、過去にメッセージ管理装置１００がカスタマ２に提示したメッセージ（過去のメッセージ２１）を蓄積したデータである。記憶装置１２０は、過去にメッセージ管理装置１００がカスタマ２に提示したメッセージを、提示した日時（あるいは期間）と対応付けて記録

する。

[0047] 編集中メッセージデータ１２２は、編集者１が編集中のメッセージ（編集中メッセージ２２）のデータである。編集者１が編集中メッセージ２２を編集し更新すると、記憶装置１２０はそれに伴って編集中メッセージデータ１２２の内容を更新する。

[0048] 提示用メッセージデータ１２３は、メッセージ管理装置１００がカスタマ２に向けて提示するメッセージ（提示用メッセージ２３）のデータである。編集者１が編集中メッセージ２２の編集を完了すると、記憶装置１２０は提示用メッセージデータ１２３に編集中メッセージ２２の最終稿の内容を提示用メッセージ２３として記録する。メッセージ管理装置１００は、例えば提示用メッセージデータ１２３から読み出した提示用メッセージ２３を電子メールによるメールマガジンの形でカスタマに配信し、あるいはカスタマからのアクセスに応じてウェブページの形で配信する。

[0049] 商品情報データ１２４は、図４に示すように、商品ＩＤ（IDentifier）１２４Ａ、商品型番１２４Ｂ、商品名１２４Ｃ、価格１２４Ｄ、商品情報１２４Ｅ、特売指定１２４Ｆ、価格更新日時１２４Ｇなどを含むレコードが複数連結した構造を有する。

[0050] 商品ＩＤ１２４Ａは、ショップが販売している商品を区別するために、商品の種類ごとに固有に割り振る識別子である。

[0051] 商品型番１２４Ｂは、その商品の生産者が、同じく商品を区別するために商品に割り当てた識別子である。

[0052] 商品名１２４Ｃは、その商品の名前を示す情報である。ショップの担当者は、その商品の生産者が付けた名前をそのまま商品名１２４Ｃに登録してもよいし、よりカスタマにわかりやすいように編集を加えてもよい。

[0053] 価格１２４Ｄは、ショップがその商品をカスタマに販売するときの価格（販売条件）を示す情報である。ショップは、時期に応じて商品ごとの価格を変更することが可能である。

[0054] 商品情報１２４Ｅは、その商品に関して説明する文章や、あるいはその商

品に関して情報を得られるウェブサイトのＵＲＬ(Uniform Resource Locator）などを含む情報である。

[0055] 商品型番１２４Ｂ、商品名１２４Ｃ、価格１２４Ｄ、商品情報１２４Ｅは、カスタマがショップから目的とする商品を購入する際に参考となる情報（商品情報）である。メッセージ管理装置１００は、この４つのデータ（商品型番１２４Ｂ、商品名１２４Ｃ、価格１２４Ｄ、商品情報１２４Ｅ）を、商品に関する情報を記述する商品情報として取り扱う。特にメッセージ管理装置１００は、価格１２４Ｄを、ショップがカスタマに対して商品を販売する際の販売条件として取り扱う。

[0056] 特売指定１２４Ｆは、ショップがその商品を特売の対象の商品として指定しているか否かを示すフラグである。メッセージ管理装置１００は、ショップにより特売指定１２４ＦのフラグをＯＮとされた商品を特売対象の商品として取り扱う。

[0057] 価格更新日時１２４Ｇは、そのレコードに記録されている商品の価格１２４Ｄが最後に更新された日時を示す情報を格納する。例えば、ショップがセール期間に商品の価格を変更する（すなわち価格１２４Ｄに記録されている数値を変更する）と、変更した日時を示す情報が価格更新日時１２４Ｇに記録される。

[0058] 実施の形態１に係るメッセージ管理装置１００は、過去のメッセージ２１を初稿として編集中メッセージ２２を作成すると、図５に示す抽出処理を開始する。メッセージ管理装置１００は、この抽出処理により、編集中メッセージ２２から修正すべき部分を抽出処理によって抽出する。

[0059] 抽出処理の最初に、ＣＰＵ１１０は、記憶装置１２０に記録されている商品情報データ１２４を読み出す（ステップＳ１０）。

[0060] 次にＣＰＵ１１０は、編集中メッセージ２２内を検索し、所定の抽出条件を満たす部分を特定する（ステップＳ２０）。具体的には、ＣＰＵ１１０は、編集中メッセージ２２を検索し、商品情報データ１２４に含まれる商品情報（商品型番１２４Ｂ、商品名１２４Ｃ、価格１２４Ｄ、商品情報１２４Ｅ

）と一致する記載があると、これらが記載されている部分を抽出条件に合致したものとして特定する。

[0061] 次にＣＰＵ１１０は、編集中メッセージ２２から、ステップＳ２０で特定した部分を抽出する（ステップＳ３０）。ステップＳ３０を完了すると、ＣＰＵ１１０は抽出処理を完了する。ここまで述べた抽出処理を行うことにより、ＣＰＵ１１０は、抽出部１１として動作する。

[0062] 図６は、表示部１２が編集中メッセージ２２を表示した一例を示す図である。図６に示された例では、編集中メッセージ２２に、商品情報データ１２４と一致した部分である強調部分２２Ａが存在する。その場合、メッセージ管理装置１００は、強調部分２２Ａにある文字を点滅させ、あるいはフォントサイズを拡大して表示し、他の部分に比べて強調して表示する。

[0063] ここまで述べたとおり、メッセージ管理装置１００は、ショップがカスタマへ過去に提示した過去のメッセージ２１（第１メッセージ）から編集中メッセージ２２（第２メッセージ）の初稿を作成し、編集中メッセージ２２において所定の抽出条件を満たす部分を強調して表示する。このように、メッセージ管理装置１００は、編集者１に、修正すべき箇所を強調して表示し、修正すべき箇所の修正忘れを防止することができる。

[0064] ここまで述べた説明においては、メッセージ管理装置１００は、編集中メッセージ２２内から商品情報データ１２４に記録されている情報と同一の記載がある部分を抽出し、当該部分を強調して表示した。メッセージ管理装置１００はこれに限られず、例えば日付、値段、割引率や割引額などを、商品情報データ１２４によらずにメッセージから抽出して強調してもよい。

[0065] メッセージ管理装置１００は、商品情報データ１２４に特売指定１２４Ｆを記録する。そのため、商品情報データ１２４を時系列に沿って蓄積し参照することにより、過去のメッセージ２１が過去に提示された時点（第１時点）で、その商品が特売商品に選択されていたかをメッセージ管理装置１００は判別することができる。これを利用し、メッセージ管理装置１００は、過去のメッセージ２１が提示された時点で特売商品に指定されていた商品の商

品情報を、他の商品の商品情報とは異なる様態で強調することも可能である。この機能により、ショップとしては、メッセージを編集する際に前回のセール時に特売対象であった商品を認識することができ、便利である。

[0066] 表示部１２が、対象部分を強調する様態は一つに限られない。例えば表示する文字のフォントを変えること、表示する文字のフォントサイズを変更すること、文字の背景色を変えること、文字を点滅表示することなどが考えられる。また、これらを組み合わせて使用することも可能である。

[0067] また、表示されている商品情報を編集するにあたっては、商品情報が記載されている部分に商品番号を指定したタグやコマンドなどを表示するだけでもよい。この場合、編集中メッセージ２２の編集が完了し、提示用メッセージ２３としてカスタマ２に提示される前に、提示する時点の商品情報に展開される。このような態様では、当該タグやコマンドを強調表示するとともに、過去に記載されたタグ等内の商品番号から、その商品の情報が変化しているか否かを調べることができる。

[0068] また、メッセージ管理装置１００は、商品情報データ１２４全体のデータに基づいて強調する部分を抽出するのではなく、ショップが予め定めたセール商品リストに含まれる商品の商品情報を強調するものであってもよい。すなわち、特売指定１２４ＦのフラグがＯＮとなっている商品のみを対象に強調することも可能である。

[0069] また、メッセージ管理装置１００は、商品の販売条件（価格１２４Ｄ）が、過去のメッセージ２１が提示された時点と、編集中メッセージ２２の最終稿の内容が提示用メッセージ２３に記録され、カスタマ２に提示される時点とでは異なるものとなる場合、その価格１２４Ｄを示す部分を、他の部分とは異なる様態で強調するものであってもよい。メッセージ管理装置１００は、商品情報データ１２４の価格更新日時１２４Ｇを参照することにより当該商品の価格１２４Ｄが更新された日時を特定することができる。これを利用し、メッセージ管理装置１００は、過去のメッセージ２１が過去に提示された時点（第１時点）と、編集中メッセージ２２の最終稿がカスタマ２に提示

される時点（第２時点）とで異なる商品を特定できる。メッセージ管理装置１００は、これを利用し、前回のメッセージ提示後に価格が更新された商品について、強調する様態を変えて編集者１に示すことができる。

[0070] メッセージ管理装置１００は、第１時点と第２時点とで販売条件（価格１２４Ｄ）が更新された商品を特定した場合、編集中メッセージ２２を、第１時点における販売条件を第２時点における販売条件に置き換えて表示することも可能である。

[0071] 上述した実施の形態１においては、過去のメッセージ２１、編集中メッセージ２２、提示用メッセージ２３は、記憶装置１２０内でそれぞれ別の記録領域（過去のメッセージデータ１２１、編集中メッセージデータ１２２、提示用メッセージデータ１２３）に記録されている。しかしながら、メッセージ管理装置１００それぞれを別のものとして判別し処理できるものであれば、同一のデータベース上に存在するものであってもよい。

[0072] ＜実施の形態２＞

本発明の実施の形態２に係るメッセージ管理装置２００は、過去のメッセージ２１と編集中メッセージ２２とを対比することにより、編集者１がメッセージを更新した部分を特定することができる。その上で、ショップの担当者が一部についてメッセージを修正した場合、他に同様の修正が必要な部分があると、メッセージ管理装置２００はその部分をショップの担当者に提示することができる。

[0073] メッセージ管理装置２００は、図２に示された実施の形態１に係るメッセージ管理装置１００と同様のハードウェア構成を有する。ここでは、説明を割愛する。

[0074] 実施の形態２に係るメール送信装置２００は、図７に示すように、機能面では、抽出部１１、表示部１２、編集部１３、提示部１４および特定部１５を備える。

[0075] 抽出部１１、編集部１３、提示部１４は、実施の形態１にかかるメッセージ管理装置１００のものと同一の機能を有するものであり、説明を割愛する

。

[0076] 特定部１５は、過去にカスタマ２に提示された過去のメッセージ２１（第１のメッセージ）と、編集中メッセージ２２（編集中の第２メッセージ）の内容とを対比し、相違する相違部分を特定する。ここで、過去のメッセージ２１における特定部１５が特定した部分の語句を第１語句とし、編集中メッセージ２２における特定部１５が特定した部分の語句を第２語句とする。

[0077] 表示部１２は、実施の形態１と同様に抽出部１１が抽出した部分を強調して表示する。それに加え、表示部１２は、編集者１が編集中メッセージ２２を編集している間、編集中メッセージ２２に残っている、第１語句も強調表示する。

[0078] 特定部１５が特定した相違部分は、過去のメッセージ２１を初稿として作成された編集中メッセージ２２を編集者１が編集し、初稿における第１語句を第２語句に記載を改めた結果として生じたものである。そのため、現在の編集中メッセージ２２に第１語句が残っている場合、その部分は、編集者１にとって、第２語句に修正すべき部分である可能性がある。

[0079] 表示部１２が、特定部１５によって特定された部分を強調して編集中メッセージ２２を表示することで、編集者１は、編集中メッセージ２２に残存する第１語句の位置を容易に把握することができる。これにより、メッセージ管理装置２００は、編集者１による修正もれを防止することができる。

[0080] なお、メッセージ管理装置２００は、編集中メッセージ２２に残存する第１語句を強調表示するのみならず、第１語句を第２語句に置き換えるか否かを編集者１に確認するものであってもよい。このようにすることで、メッセージ管理装置２００は、編集者１が残存する第１語句を逐次修正する労力を低減することが可能である。

[0081] ＜実施の形態２の変形例＞

実施の形態２では、メッセージ管理装置２００は、過去の１時点（第１の時点）に提示された過去のメッセージ２１（第１のメッセージ）と、編集中メッセージ２２（第２のメッセージ）とを対比することにより、修正すべき

部分を特定し、編集者に提示した。この変形例として、過去の第１の時点にカスタマ２に提示されたメッセージと、第１の時点より前の第３の時点にカスタマ２に提示されたメッセージとを対比することにより、修正すべき部分を特定し提示することも可能である。

[0082] 変形例におけるメッセージ管理装置３００は、提示部１４がカスタマ２に提示用メッセージ２３を提示すると、提示された提示用メッセージ２３の内容と、提示した日時を示す情報とを対応付けて過去のメッセージデータ１２１に記録する。提示部１４がカスタマ２に提示するたびにこれを繰り返すことにより、メッセージ管理装置３００は、過去のメッセージデータ１２１に複数の過去のメッセージ２１を蓄積する。

[0083] メッセージ管理装置３００は、過去の第１の時点に提示された過去のメッセージ２１を読み込んで編集中メッセージ２２の初稿を作成する際、過去の２つの時点で提示されたメッセージを比較し、差異のある部分を特定し、その部分を編集が望まれる部分として編集者１に提示することができる。そのためには、メッセージ管理装置３００は、以下に示す処理を実行する。

[0084] メッセージ管理装置３００は、過去の第１の時点でショップがカスタマに提示したメッセージ（第１メッセージ）、および、第１の時点よりも前の時点（第３の時点）でショップがカスタマに提示したメッセージ（第３メッセージ）を過去のメッセージデータ１２１から読み出し、第１メッセージと第３メッセージとを対比して差異がある部分を特定する。そしてメッセージ管理装置３００は、第１メッセージの特定された部分の語句を第１語句とし、第３メッセージの特定された部分の語句を第３語句とする。

[0085] メッセージ管理装置３００は、編集者１が編集中メッセージ２２を編集している間、編集中メッセージ２２（第２メッセージ）に存在する第１語句および第３語句を強調表示する。

[0086] ここで、第１語句および第３語句は、過去に第３メッセージを提示してから第１メッセージを提示するまでにショップがメッセージに変更を加えた部分である。そのため、ショップが新たなメッセージを作成しカスタマに提示

する場合、メッセージにおいて第１語句あるいは第３語句がある部分は、修正が必要な部分である可能性が高い。メッセージ管理装置３００は、編集中メッセージ２２（第２メッセージ）に存在する第１語句および第３語句を強調表示することによって、編集者１が新規に提示用メッセージ２３を作成する際に、参考となる情報を提供する。

[0087] なお、メッセージ管理装置３００は、編集中メッセージ２２に存在する第１語句、第３語句を強調表示するのみならず、置き換えるか否かを編集者１に確認するものであってもよい。特に、編集者１が第１語句又は第３語句を他の語句（第２語句）に変更した場合に、他の第１語句又は第３語句について、第２語句に置き換えるかを確認することが可能である。このようにすることで、メッセージ管理装置３００は、編集中メッセージ２２に存在する第１語句および第３語句を逐次修正する労力を低減することが可能である。

[0088] 上述した変形例では、メッセージ管理装置３００は、過去にカスタマに提示したメッセージを２つ参照し、新しく提示すべきメッセージにおいて編集が望まれる部分を特定した。しかし、メッセージ管理装置３００が参照するメッセージの数は２つに限られず、任意の数が可能である。すなわち、メッセージ管理装置３００は、過去にカスタマに提示したメッセージを３つ以上読み出し、これらに基づいて編集が望まれる部分を特定してもよい。その場合、読み出した３つ以上のメッセージを比較し、差異がある部分を特定した上で、差異がある部分にあった語句と同じ語句がある部分を編集中メッセージから検索し強調する。

[0089] 本発明の実施の形態にかかるメッセージ管理装置は、専用のシステムによらず、通常のコンピュータシステムを用いても実現可能である。例えば、コンピュータに、上記動作を実行するためのプログラムを、フレキシブルディスク、ＣＤ－ＲＯＭ（Compact Disk-Read Only Memory）、ＤＶＤ（Digital Versatile Disk）、ＭＯ（Magnet Optical Disk）などのコンピュータ読み取り可能な記憶媒体に記憶して配布し、これをコンピュータシステムにインストールすることにより、上述の処理を実行するメッセージ管理装置を構成し

ても良い。さらに、インターネット上のサーバ装置が有するディスク装置等にプログラムを記憶しておき、例えば、搬送波に重畳させて、コンピュータにダウンロード等するものとしてもよい。

[0090] また、本発明の実施形態に係るメッセージ管理装置は、一台で実現されるものに限定されない。複数のコンピュータが上述した各部の機能を分担することにより、それらの複数のコンピュータからなる一つのシステムとして各機能を提供するものであってもよい。

[0091] ここまで本発明の好ましい実施の形態について詳述したが、本発明は係る特定の実施の形態に限定されるものではなく、特許請求の範囲に記載された本発明の要旨の範囲内において、種々の変形、変更が可能である。また、各実施の形態および変形例は、単独で実現されてもよいし、あるいは組み合わせて実現されたものも本発明の範囲に含まれる。

[0092] また、上述した実施形態は、本発明を説明するためのものであり、本発明の範囲を限定するものではない。つまり、本発明の範囲は、実施の形態ではなく、請求の範囲によって示される。そして、請求の範囲内及びそれと同等の発明の意義の範囲内で施される様々な変形が、本発明の範囲内とみなされる。

符号の説明

[0093] １：編集者

２：カスタマ

１１：抽出部

１２：表示部

１３：編集部

１４：提示部

１５：特定部

２１：過去のメッセージ

２２：編集中メッセージ

２２Ａ：強調部分

２３：提示用メッセージ

１００：メッセージ管理装置

１１０：ＣＰＵ

１１１：ＲＯＭ

１１２：ＲＡＭ

１２０：記憶装置

１２１：過去のメッセージデータ

１２２：編集中メッセージデータ

１２３：提示用メッセージデータ

１２４：商品情報データ

１２４Ａ：商品ＩＤ

１２４Ｂ：商品型番

１２４Ｃ：商品名

１２４Ｄ：価格

１２４Ｅ：商品情報

１２４Ｆ：特売指定

１２４Ｇ：価格更新日時

１３０：操作デバイス

１４０：ディスプレイ

１５０：ネットワークインターフェース

１６０：内部バス

２００：メッセージ管理装置

３００：メッセージ管理装置

請求の範囲

[請求項1] ショップからカスタマへ過去の第１時点に提示された第１メッセージを、新たに提示すべき第２メッセージの初稿として、当該第２メッセージの初稿から、所定の抽出条件を満たす部分を抽出する抽出部、

前記抽出された部分を強調して前記第２メッセージの初稿を表示する表示部、

前記第２メッセージを、前記ショップによる指示入力に基づいて編集する編集部、

前記編集が完了すると、前記第２メッセージの最終稿を前記カスタマあるいは他のカスタマに提示する提示部、を備え、

前記第１時点で前記ショップが販売していた商品に関する情報を記述する商品情報部分は前記所定の抽出条件を満たす

ことを特徴とするメッセージ管理装置。

[請求項2] 前記表示部は、前記商品が前記第１時点で前記ショップにより特売商品に選択されていたか否かにより、前記商品情報部分の強調の様態を変える

ことを特徴とする請求項１のメッセージ管理装置。

[請求項3] 前記表示部は、前記商品の販売条件が前記第１時点と前記第２メッセージの最終稿が提示される第２時点とで異なるか否かにより、前記商品情報部分の強調の態様を変える

ことを特徴とする請求項１のメッセージ管理装置。

[請求項4] 前記表示部は、前記初稿において、前記販売条件が前記第１時点と前記第２時点とで異なる前記商品情報部分における、前記第１時点における販売条件が、前記第２時点における販売条件に置き換えられた後に、前記初稿を表示する

ことを特徴とする請求項３のメッセージ管理装置。

[請求項5] 前記第２メッセージの編集が開始されると、提示された前記第１メッセージと、編集中の前記第２メッセージとで相違する相違部分を特

定する特定部、をさらに備え、

前記表示部は、前記第２メッセージが編集されている間、前記第２メッセージに残っている前記第１メッセージにおける前記相違部分の記載である第１語句を強調表示する、

ことを特徴とする請求項１のメッセージ管理装置。

[請求項6] 前記表示部は、前記第２メッセージに残っている前記第１語句を前記第２メッセージにおける前記特定された相違部分の記載である第２語句に置き換えるか否かをショップに確認する

ことを特徴とする請求項５のメッセージ管理装置。

[請求項7] 前記第１メッセージの内容と、前記第１時点より前の第３時点にショップからカスタマへ提示された第３メッセージの内容とで相違する相違部分を特定する特定部、をさらに備え、

前記表示部は、前記第２メッセージが編集されている間、前記第２メッセージに存在する、前記第１メッセージにおける前記相違部分の記載である第１語句と前記第３メッセージにおける前記相違部分の記載である第３語句とを強調表示する、

ことを特徴とする請求項１のメッセージ管理装置。

[請求項8] 前記表示部は、前記第２メッセージに存在する前記第１語句または前記第３語句が前記ショップにより第２語句に変更されると、前記第２メッセージに存在する他の前記第１語句および他の前記第３語句を前記第２語句に置き換えるか否かをショップに確認する、

ことを特徴とする請求項７のメッセージ管理装置。

[請求項9] ショップからカスタマへ過去の第１時点に提示された第１メッセージを、新たに提示すべき第２メッセージの初稿として、当該第２メッセージの初稿から、所定の抽出条件を満たす部分を抽出する抽出ステップ、

前記抽出された部分を強調して前記第２メッセージの初稿を表示する表示ステップ、

前記第２メッセージを、前記ショップによる指示入力に基づいて編集する編集ステップ、

前記編集が完了すると、前記第２メッセージの最終稿を前記カスタマあるいは他のカスタマに提示する提示ステップ、を備え、

前記第１時点で前記ショップが販売していた商品に関する情報を記述する商品情報部分は前記所定の抽出条件を満たす

ことを特徴とするメッセージ管理方法。

[請求項10] コンピュータを、

ショップからカスタマへ過去の第１時点に提示された第１メッセージを、新たに提示すべき第２メッセージの初稿として、当該第２メッセージの初稿から、所定の抽出条件を満たす部分を抽出する抽出手段、

前記抽出された部分を強調して前記第２メッセージの初稿を表示する表示手段、

前記第２メッセージを、前記ショップによる指示入力に基づいて編集する編集手段、

前記編集が完了すると、前記第２メッセージの最終稿を前記カスタマあるいは他のカスタマに提示する提示手段、として機能させ、

前記第１時点で前記ショップが販売していた商品に関する情報を記述する商品情報部分は前記所定の抽出条件を満たす

ことを特徴とするプログラムを記録した記録媒体。

[請求項11] コンピュータを、

ショップからカスタマへ過去の第１時点に提示された第１メッセージを、新たに提示すべき第２メッセージの初稿として、当該第２メッセージの初稿から、所定の抽出条件を満たす部分を抽出する抽出手段、

前記抽出された部分を強調して前記第２メッセージの初稿を表示する表示手段、

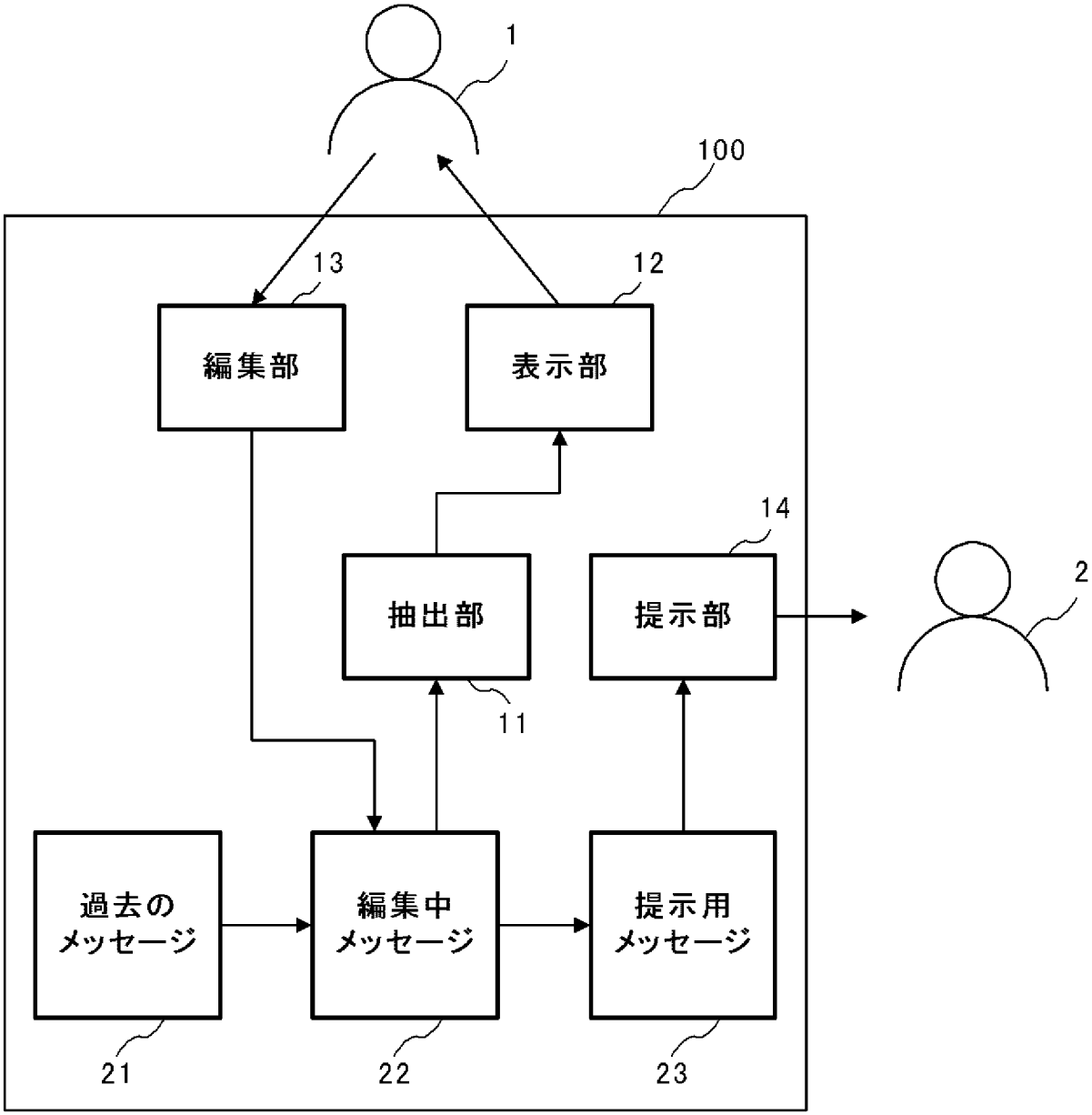
前記第２メッセージを、前記ショップによる指示入力に基づいて編集する編集手段、

前記編集が完了すると、前記第２メッセージの最終稿を前記カスタマあるいは他のカスタマに提示する提示手段、として機能させ、

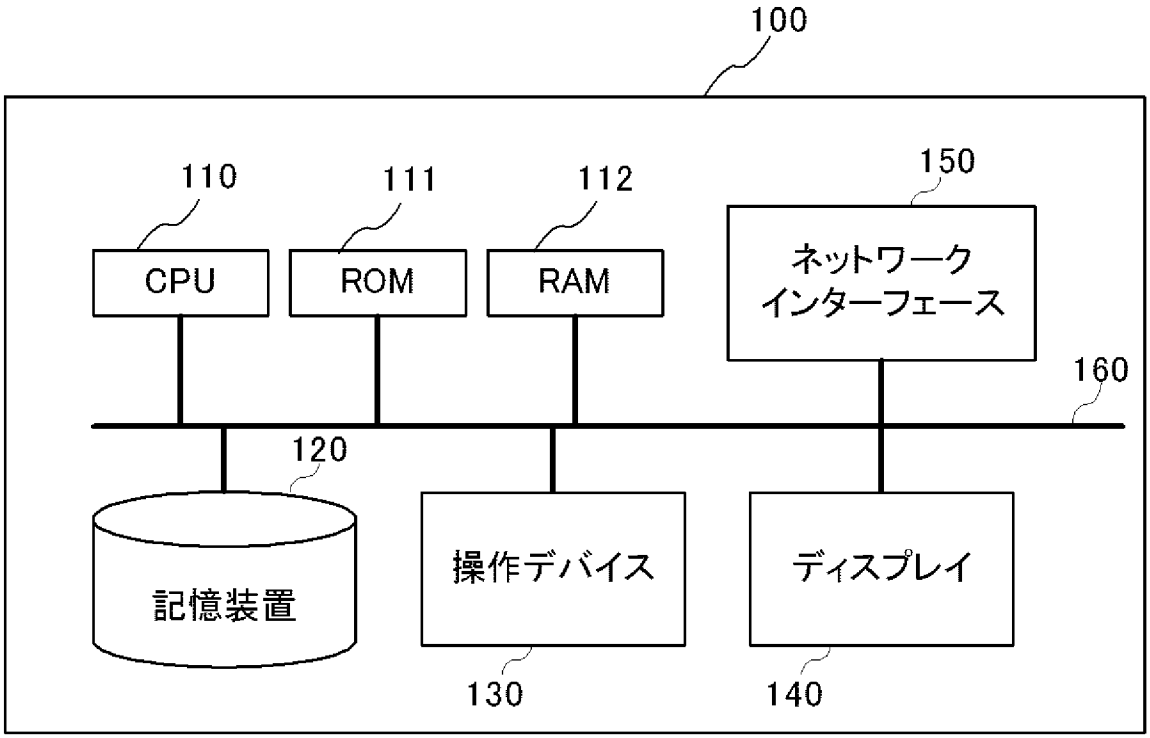
前記第１時点で前記ショップが販売していた商品に関する情報を記述する商品情報部分は前記所定の抽出条件を満たす

ことを特徴とするプログラム。

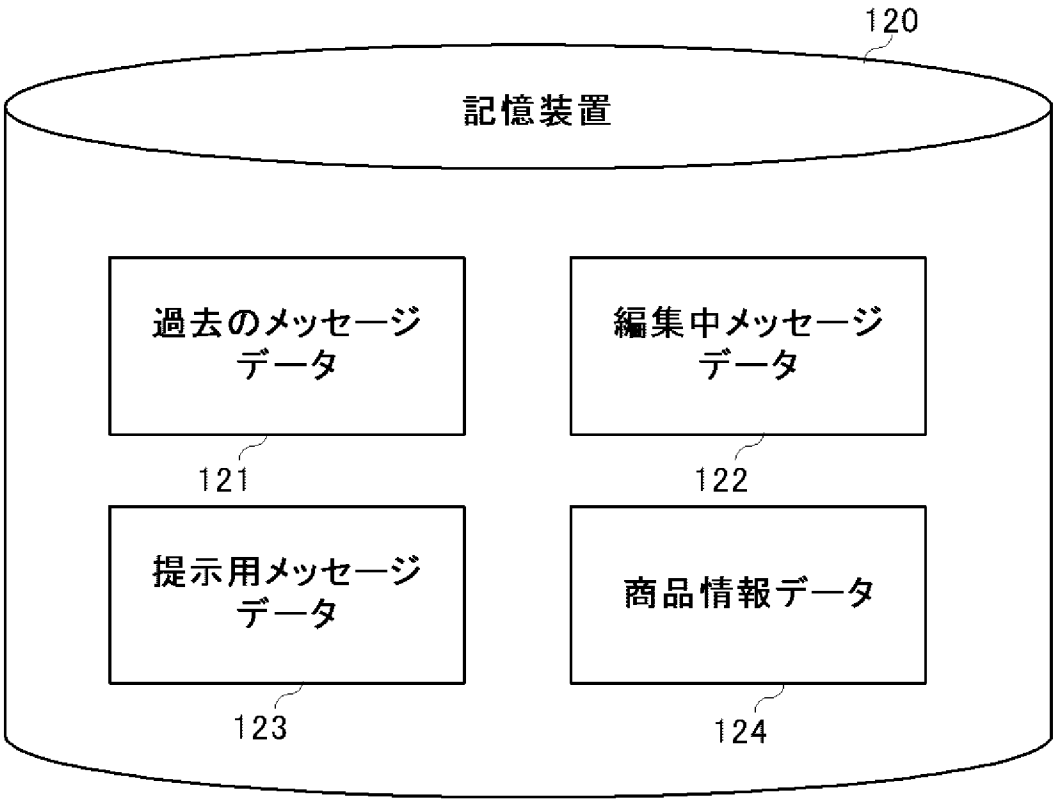
[図1]


1
100
13
12
編集部
表示部
14
抽出部
提示部
2
11
過去の
メッセージ
編集中
メッセージ
提示用
メッセージ
21
22
23

[図2]


100
110
111
112
150
CPU
ROM
RAM
ネットワーク
インターフェース
160
120
記憶装置
操作デバイス
ディスプレイ
130
140

[図3]

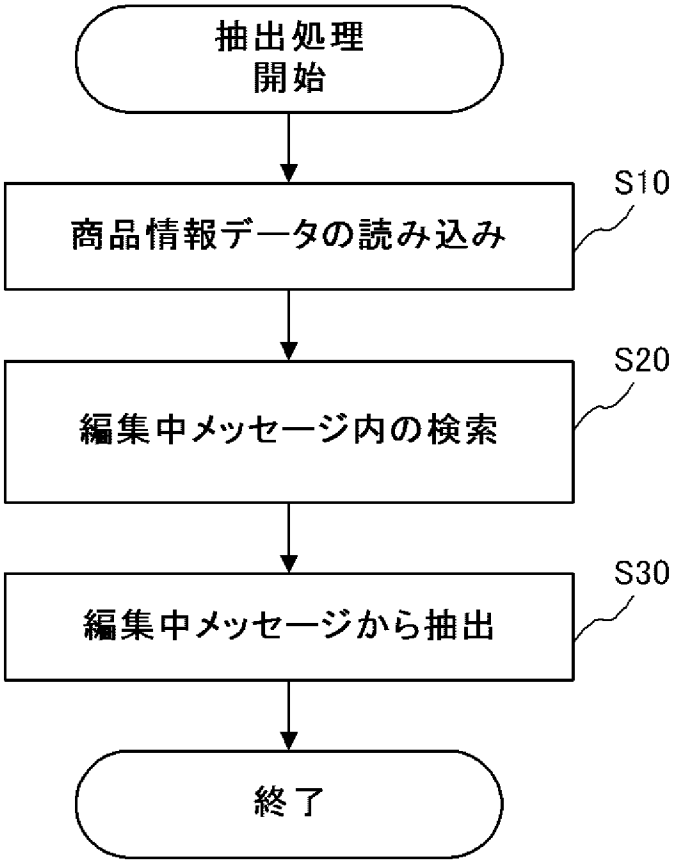

120
記憶装置
過去のメッセージ
データ
編集中メッセージ
データ
121
122
提示用メッセージ
データ
商品情報データ
123
124

[図4]

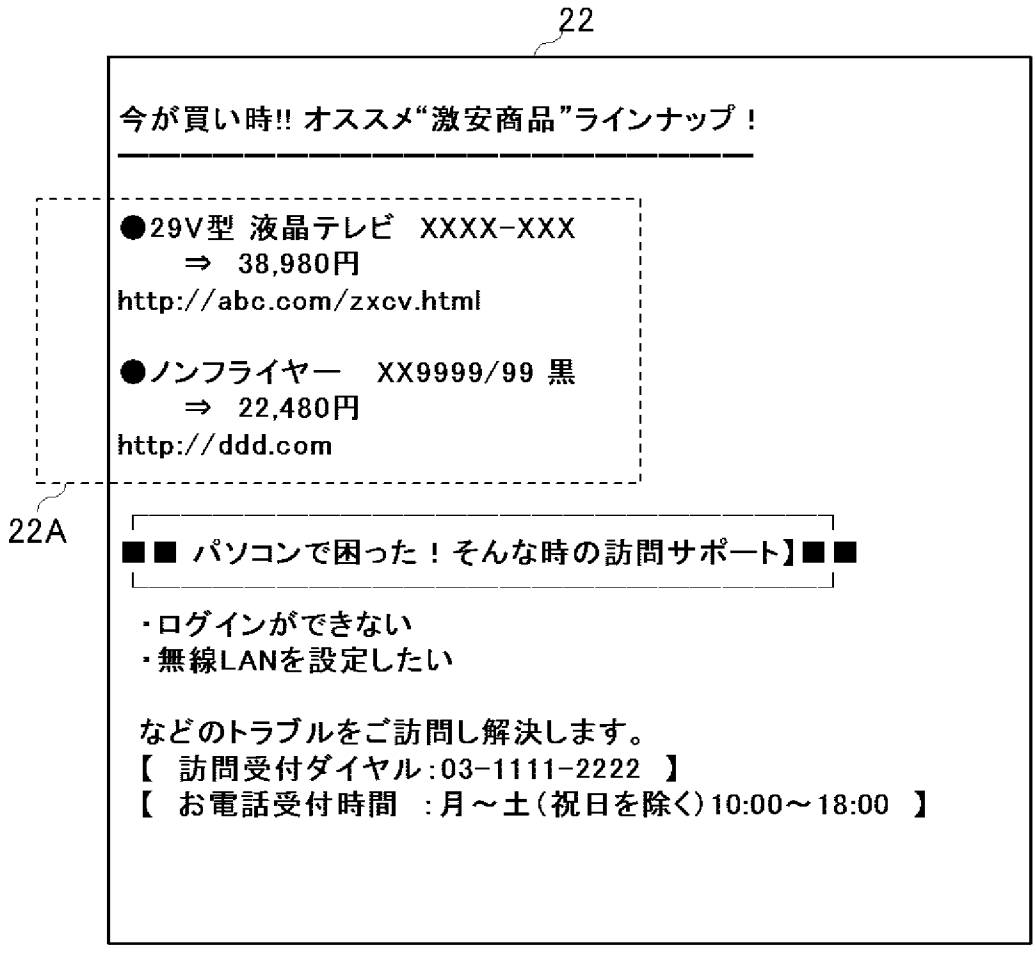
124

124A 商品ID	124B 商品型番	124C 商品名	124D 価格	124E 商品情報	124F 特売指定	124G 価格更新日時
00001	AS32740E	液晶テレビ	38,980	http://abc.com	ON	2013.11.12 09:23:42
00002	AD740D	ノンフライヤー	22,480	ddd社製	ON	2014.4.8 11:08:55
00003	AS32740A	液晶テレビ	28,980	http://abc.com		2013.11.12 09:23:56
00004	STQ40504E	DVDプレイヤー	7,980	多層式に対応		2011.1.20 13:00:10

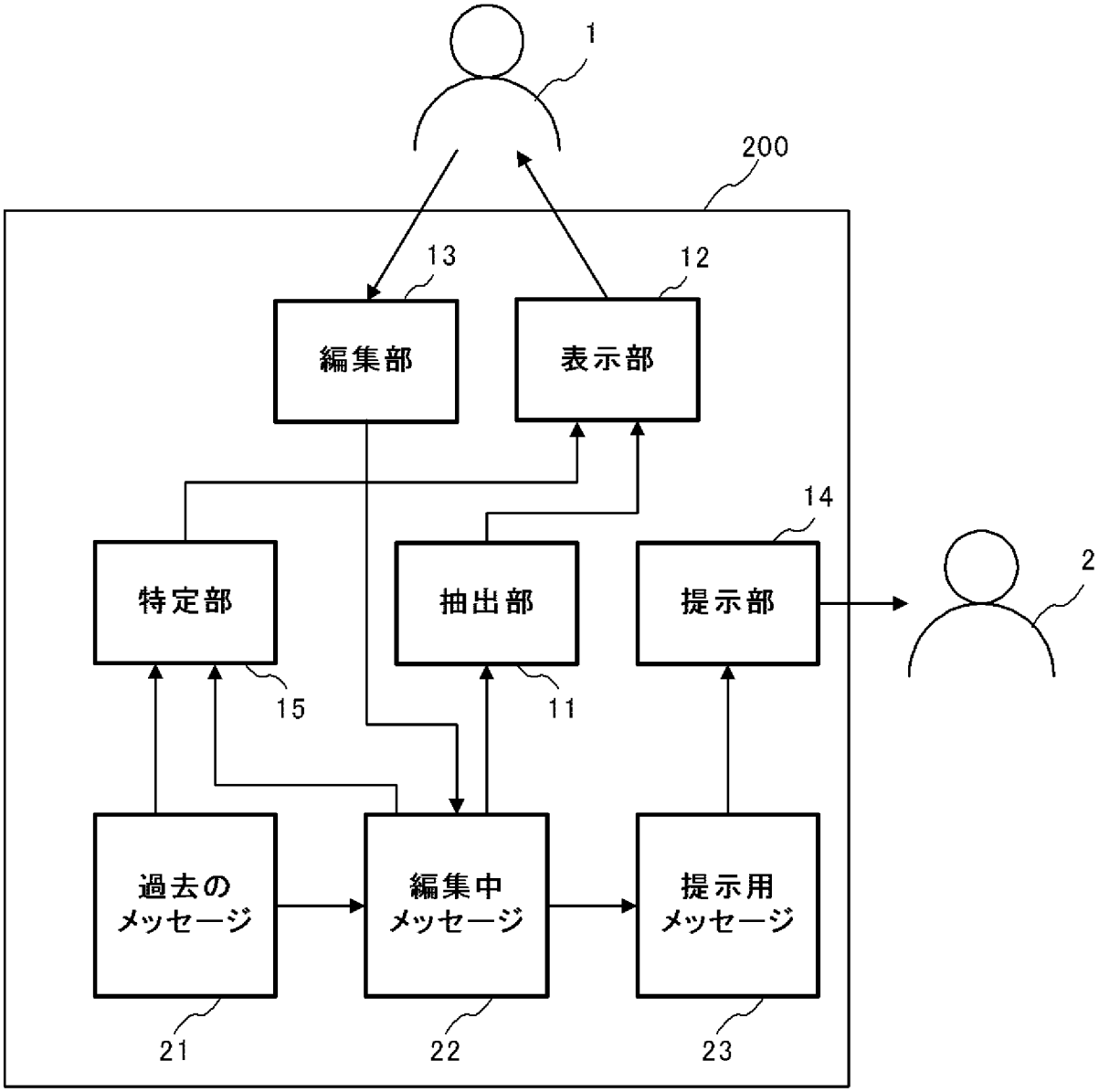
[図5]


抽出処理
開始
S10
商品情報データの読み込み
S20
編集中メッセージ内の検索
S30
編集中メッセージから抽出
終了

[図6]


22
今が買い時!! オススメ"激安商品"ラインナップ！
●29V型 液晶テレビ XXXX-XXX
⇒ 38,980円
http://abc.com/zxcv.html
●ノンフライヤー XX9999/99 黒
⇒ 22,480円
http://ddd.com
22A
■■ パソコンで困った！そんな時の訪問サポート】■■
・ログインができない
・無線LANを設定したい
などのトラブルをご訪問し解決します。
【 訪問受付ダイヤル:03-1111-2222 】
【 お電話受付時間 :月～土(祝日を除く)10:00～18:00 】

[図7]


1
200
13
12
編集部
表示部
14
特定部
抽出部
提示部
2
15
11
過去の
メッセージ
編集中
メッセージ
提示用
メッセージ
21
22
23

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2014/066739

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
G06F13/00(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
G06F13/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2014
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2014	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2014

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2010-267120 A (A Crea Corp.), 25 November 2010 (25.11.2010), paragraph [0072] (Family: none)	1-11
A	JP 2003-108483 A (Seiko Epson Corp.), 11 April 2003 (11.04.2003), paragraphs [0005] to [0013] (Family: none)	1-11
A	JP 2004-127144 A (TTT Kabushiki Kaisha), 22 April 2004 (22.04.2004), paragraphs [0035] to [0038] (Family: none)	1-11

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search 02 September, 2014 (02.09.14)	Date of mailing of the international search report 09 September, 2014 (09.09.14)
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office Facsimile No.	Authorized officer Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2014/066739

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2003-346037 A (Toshiba Tec Corp.), 05 December 2003 (05.12.2003), paragraphs [0030] to [0034] (Family: none)	1-11

国際調査報告

国際出願番号　ＰＣＴ／ＪＰ２０１４／０６６７３９

Ａ．　発明の属する分野の分類（国際特許分類（ＩＰＣ））

Int.Cl.　G06F13/00(2006.01)i

Ｂ．　調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（ＩＰＣ））

Int.Cl.　G06F13/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	１９２２－１９９６年
日本国公開実用新案公報	１９７１－２０１４年
日本国実用新案登録公報	１９９６－２０１４年
日本国登録実用新案公報	１９９４－２０１４年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

Ｃ．　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
A	JP 2010-267120 A (有限会社ア・クレア) 2010.11.25, 段落【0072】(ファミリーなし)	1-11
A	JP 2003-108483 A (セイコーエプソン株式会社) 2003.04.11, 段落【0005】-【0013】(ファミリーなし)	1-11
A	JP 2004-127144 A (ティー・ティー・ティー株式会社) 2004.04.22, 段落【0035】-【0038】(ファミリーなし)	1-11

☑　Ｃ欄の続きにも文献が列挙されている。

☐　パテントファミリーに関する別紙を参照。

＊　引用文献のカテゴリー

「Ａ」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「Ｅ」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「Ｌ」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）

「Ｏ」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「Ｐ」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献

「Ｔ」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「Ｘ」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Ｙ」特に関連のある文献であって、当該文献と他の１以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「＆」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日	国際調査報告の発送日
０２．０９．２０１４	０９．０９．２０１４

国際調査機関の名称及びあて先
日本国特許庁（ＩＳＡ／ＪＰ）
郵便番号１００－８９１５
東京都千代田区霞が関三丁目４番３号

特許庁審査官（権限のある職員）　５Ｔ　３９８０
木村　雅也
電話番号　０３－３５８１－１１０１　内線　３５６８

Ｃ（続き）．　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
A	JP 2003-346037 A（東芝テック株式会社）2003.12.05, 段落【0030】-【0034】（ファミリーなし）	1-11